

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300238
事業所名	グループホーム設楽の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 「自分たちが避難するときのために自主的に道路清掃しよう」と、月3回日勤が朝30～40分ほどかけて避難経路の掃除に取り組んでいます。犬の散歩や通りすがりの人から「ご苦労様です」「大変ね」と声がかかり、最近では「手伝えることはないか」と地域から入るようになって、厚い信頼に結ばれています。また大型台風予報には区長並びに副区長の心ある言葉も届き、事業所の嬉しいトピックとなっています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 事業所の裏には旧中学校の校庭があり、現在はドクターヘリの離発着に再利用されています。ドクターヘリが到着するとすれば、係りを受け持っている事業所管理者が門扉を開閉して救急車の受入を手伝うことになっており、その出入りでの課題については運営推進会議において議題に上がり、事業所運営を超えて町全体の事柄に及ぶ話し合いがおこなわれています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 例えば町役場からは「どんな募集をしているのか」「どういった体制になれば欲しい人材が集まるのか」「町でできることはないか」等求人活動についての側面的支援が入っています。これはほんの一例で常に事業所のことを応援くださっていますが、一方管理者も行政の依頼で医師会も協力する大きな講座の講師を務める等期待に応えており、非常に密接に関わり合っています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 3ユニットそれぞれにリーダーがおり、管理者を含めると4名が指導者として気配りしていることもあって報連相が整っていることは家族の、安心の一つとなっています。本年度の家族会では夫妻、姉妹兄弟、孫と近親者が集い、手作りおやつやゲームで楽しみましたが、以前には町の Mascot キャラクター『とましーなちゃん』が来所したこともあり、家族の笑顔が咲く場所の一つに事業所が成りつつあります。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	